

韓国における林野火災対応について

総務省消防庁

韓国における林野火災の概要

1 発生日時

2025年3月21日～26日

※3月30日に11件の火災すべての消火が完了した旨を発表

2 発生場所

慶尚北道など。詳細は右図。

3 被害

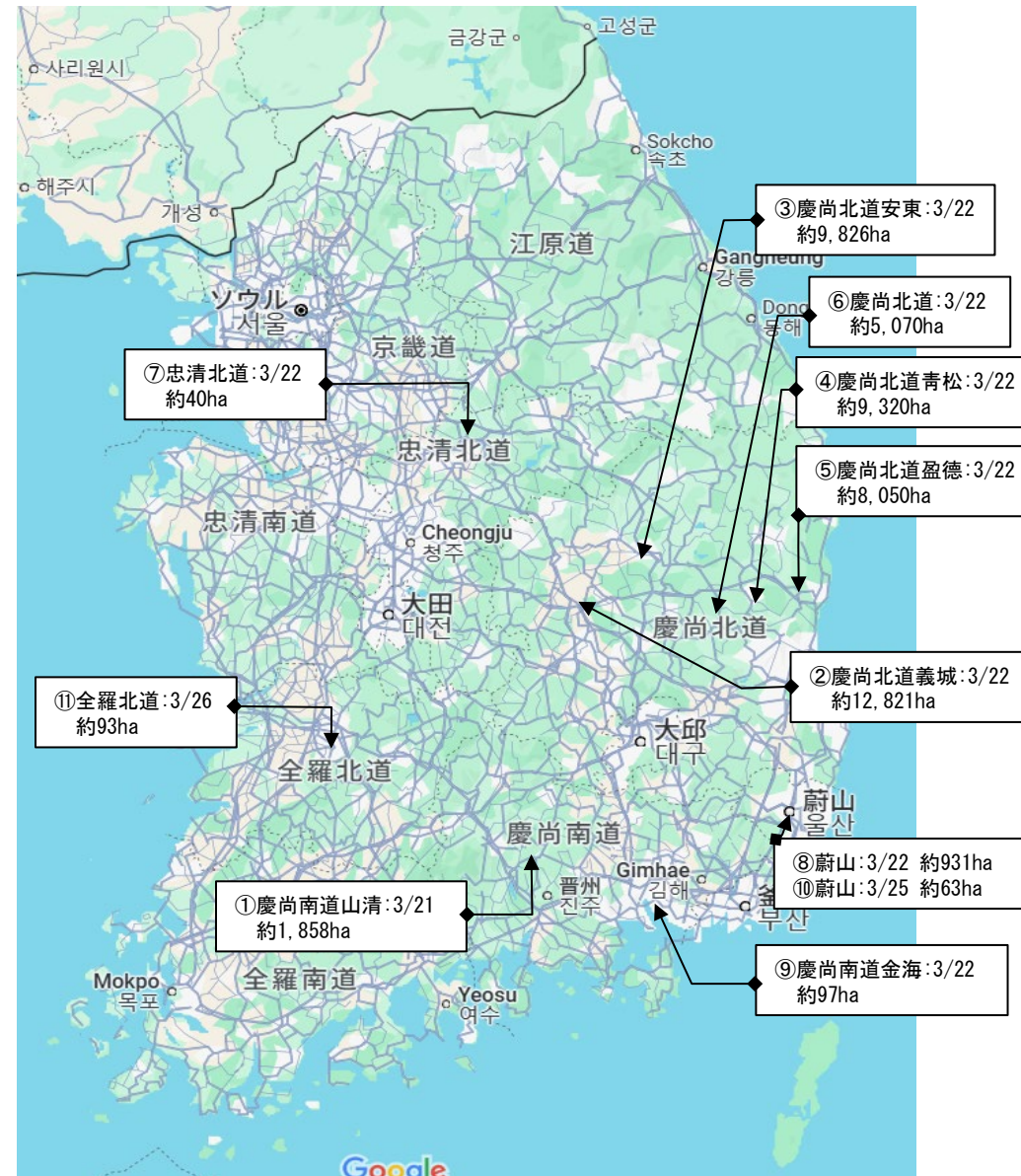
焼損面積：約48,239ha

死者： 31名（慶北27, 慶南4）

建物被害：不明（建物被害に関する記載はなし）

4 気象

- ・ 3月21日～26日は平均気温が14.2℃と過去最高を記録。
- ・ 慶尚北道の相対湿度は平年比15%ほど低かった。
- ・ 韓国のほとんど全ての地域で乾燥。



韓国山林庁が所有する林野火災対応のヘリコプターについて

機種別 区分	大型 (7機)	中型 KA-32 (29機)、スリオン (3機)	小型 (11機)
	S-64	KA-32/スリオン	Bell-206/AS-350
		 / 	 / 
生産国 (製造会社)	アメリカ ERICKSON	ロシア／韓国 KumAPE／KAI	アメリカ／フランス BELL／EUROCOPTER
搭乗人員	3名	18名／14名	7名／6名
散水タンク装着後の 速度	178km/h	148km/h／241km/h	161km/h／148km/h
飛行時間	150分	190分／180分	200分／200分
搭載水量	8,000ℓ	3,000ℓ／2,000ℓ	600ℓ／800ℓ
給油時間	15分	11分／5分	5分／5分
離着陸場サイズ	54×54m	33.5×33.5m／36×36m	26×26m／25.8×25.8m
風速限界	20m/s	20m/s／15m/s	10m/s／10m/s

※1 必要に応じて環境にやさしい無毒性の遅延剤（48時間効果持続）を使用し、延焼拡大防止のための防御線を構築する。

※2 スリオンは、夜間飛行による空中からの消火活動も行うが、安全確保のためバケットを吊り下げた状態などでは飛行しない。

韓国山林庁が所有する林野火災対応の特殊車両について

区分	①一般的な山火事鎮火車両	②高性能山火事鎮火車両	③多目的山火事鎮火車両
写真			
車台	1トン貨物車	ベンツ ユニモク (U5023)	キア K-351C
大きさ	全長4,775mm×全幅1,740mm ×全高1,970mm	全長6,920mm×全幅2,480mm×全高 3,370mm	全長6,050mm×全幅2,195mm ×全高2,550mm
搭載水量	800～1,200ℓ	3,500ℓ	2,000ℓ
搭乗人員	2名	2名	4名
放水量	・ 13mm : 60ℓ/分 ⇒ 約17分	・ 13mm : 60ℓ/分 ⇒ 約58分 ・ 25mm : 200ℓ/分 ⇒ 約18分 ・ 40mm : 500ℓ/分 ⇒ 約7分	・ 13mm : 60ℓ/分 ⇒ 約33分 ・ 25mm : 200ℓ/分 ⇒ 約10分
ホース展開	1km前後	2km前後	2km前後
備考	・ 水タンク : 凍結防止	・ 付加装備 : ウィンチ、放水銃、 噴霧装置、照明など ・ 装備積載 : 鎮火装備など ・ 水タンク : 凍結防止	・ 付加装備 : ウィンチ、ターレット、 噴霧装置、照明 ・ 水タンク : 凍結防止

韓国山林庁が所有するヘリコプター、特殊車両の活用イメージ



空中からの遅延剤の散布



水大砲



スリオンによる夜間の空中消火



夜間照明



噴霧装置